

## 函館市立中学校等 拠点校方式による部活動要項

函館市教育委員会

学校部活動は、近年、少子化に伴う児童生徒数や、学校規模縮小による教職員数の減少により、各校における部活動数および競技の選択肢は減少を余儀なくされている。

また、教員の働き方改革などの大きな課題にも直面しており、現状のままでは、学校部活動の体制を維持することが難しい状況となっている。

このことから、函館市教育委員会（以下、「教育委員会」という。）では、市立中学校・義務教育学校（以下、「市立中学校等」という。）に通う中学生が、将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができるように、新しい部活動の在り方の一つである学校が主体となる地域連携として「拠点校方式による合同学校部活動」を実施する。

拠点校方式とは、拠点とする市立中学校等を活動場所として定め、他の学校の生徒も参加できる形で実施することにより、当該生徒の在籍校に希望する部活動がない、希望する部活動はあるが人数が少なかったり、専門的に指導できる顧問がいなかったりする場合に、拠点校となる学校が受け入れる方式である。

### 1. 目的

市立中学校等に在籍する生徒が運動やスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる環境の整備に向け、学校・地域・保護者の理解と協力を得たうえで、部活動指導員等も活用しながら、拠点校方式による部活動（以下、「拠点校部活動」という。）を実施し、持続可能な部活動の実現を図る。

### 2. 事業主体および実施主体

実施の事業主体は教育委員会とする。また、実施主体は市立中学校等とする。

### 3. 実施申請

拠点校部活動を実施する校長は、教育委員会に拠点校部活動実施申請書（様式1）を提出する。提出を受けた教育委員会は、拠点校方式による部活動参加募集チラシを作成し、学校を通じて生徒・保護者に配付する。

拠点校部活動への参加を希望する生徒の在籍校の校長は、その生徒・保護者から拠点校部活動参加申込書・保護者同意書（様式2）の提出を受け、事業目的および拠点校部活動に参加できる生徒の条件に該当していることを確認のうえ、拠点校の校長に拠点校部活動参加申請書（様式3）を提出する。拠点校長は、申請を承諾したのち、参加生徒の在籍校長および教育委員会あてに拠点校部活動参加承諾書（様式4）を提出する。

### 4. 実施決定

教育委員会は、承諾書（様式4）を確認したうえで、実施を承認するものとする。

### 5. 拠点校部活動の参加について

- ① 拠点校部活動に参加する生徒の在籍校（以下、「在籍校」という。）から拠点校への移動が、保護者の責任で対応できること。
- ② 生徒は、拠点校の部活動の方針や規約に従って活動すること。
- ③ 在籍校および拠点校両校の承認が得られ、生徒・保護者の申し入れで、同意書を交わすこと。

#### 6. 参加生徒の活動について

- ① 生徒は、拠点校における部活動の方針（活動日時や各大会や試合への参加等）に従う。
- ② 移動に要する経費は生徒の保護者負担とし、保護者の責任により対応する。
- ③ 活動を欠席する場合は、生徒または保護者が拠点校の顧問へ連絡する。
- ④ 在籍校の学習活動や行事等の日程が拠点校と重なった場合、原則として在籍校の活動を優先する。
- ⑤ 在籍校での部活動参加については、在籍校および拠点校部活動顧問の承認を得る。
- ⑥ 生徒または保護者が、拠点校の部活動方針に従わず、指導後も改善されない場合には、拠点校長は当該生徒の活動を中止することができる。
- ⑦ 前各号のほか、拠点校部活動に関する生徒の活動については拠点校長が決定することとし、必要に応じて在籍校長と協議するものとする。
- ⑧ 生徒の保護者は保護者会等の組織に加入し、生徒の活動をサポートすることとする。

#### 7. 在籍校および拠点校の連携

- ① 在籍校および拠点校は連絡担当者を定め、生徒の状況について密に連絡を取る。
- ② 在籍校は拠点校に対し、生徒の健康面での配慮事項や生徒指導上参考となる事項等、部活動の指導にあたって必要な情報を提供することとする。
- ③ 拠点校の管理職、顧問、養護教諭等の関係者は、在籍校から提供される生徒の情報を共有する。

#### 8. 大会への参加

- ① 各大会の参加にあたっては、主催者が定める大会要項等に従う。
- ② 中学校体育連盟主催の大会については、同連盟が定める「全道・全国中学校体育大会に関わる拠点校部活動編成規定」に従う。
- ③ 各大会への参加にあたっての事務は、拠点校が行う。
- ④ 中体連の大会に出場する際のチーム名については、拠点校部活動とわかる登録名とする。

#### 9. 事故への対応

- ① 拠点校部活動中における事故対応や生徒指導等については、原則として拠点校で行い、必要に応じて在籍校と連携して対応するものとする。
- ② 交通事故を除く移動中の事故および活動中の事故に際して、独立行政法人日本スポーツ振興センターへの申請の手続き等は、在籍校が行う。

#### 10. 参加申込手順

- ① 拠点校部活動への参加を希望する場合は、在籍校に相談後、在籍校の校長に参加申込書・保護者同意書（様式2）を提出し、承認を受ける。
- ② 拠点校の体制が整い次第、在籍校から当該生徒・保護者へ連絡し活動を開始する。

#### 11. その他

- ① 当該年度の拠点校部活動実施内容の生徒・保護者への周知は拠点校および在籍校で行う。
- ② 拠点校は当該年度の活動開始に合わせ、生徒・保護者を対象として活動方針や活動内容を説明する機会を設けることが望ましい。
- ③ 大会登録料等、これまで学校が負担していた経費に関しては、拠点校部活動に参加している生徒の保護者、在籍校および拠点校で負担する。

#### 附 則

この要項は、令和6年6月13日から施行する。

【様式1】

拠点校部活動実施申請書

令和 年 ( ) 月 日

(教育委員会)  
函館市教育委員会 教育長 様

(拠点校)  
学校名 函館市立 中学校  
校長名

「函館市立中学校等 拠点校方式に部活動要項」に則り、下記のとおり拠点校部活動の実施を申請いたします。

記

1. 実施をする部活動

\_\_\_\_\_ 部

2. 実施期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

3. 指導者氏名

(職名) 氏 名

\_\_\_\_\_

4. 特記事項

① 活動曜日

② 活動時間

③ 募集条件

④ 公式戦への参加について

電子メールにて、教育委員会担当 ( ) あて提出してください。

【様式2】

令和 年 (        年)        月        日

\_\_\_\_\_ 学校長 殿

(在籍中学校・義務教育学校名)

\_\_\_\_\_ 学校 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組

生徒氏名 \_\_\_\_\_

保護者氏名 (署名) \_\_\_\_\_

### 拠点校部活動参加申込書・保護者同意書

拠点校部活動への参加について希望いたします。

つきましては、「函館市立中学校等 拠点校方式による部活動要項」の内容を理解し、拠点校部活動の趣旨等に賛同をし、指導・運営に同意いたします。参加にあたっては、下記のようにいたします。

#### 記

参加希望部 \_\_\_\_\_ 中学校（義務教育学校） \_\_\_\_\_ 部

移動手段（拠点校までの移動手段をお書きください。）

経 験（競技の経験の有無，部活動参加にあたっての抱負をお書きください。）

そ の 他（配慮してほしいこと，協力できること等をお書きください。）

【様式3】

拠点校部活動参加申請書

令和 年 (      年)      月      日

(拠点校)

函館市立

中学校長 様

(在籍校)

学校名 函館市立

中学校

校長名

「函館市立中学校等 拠点校方式による部活動要項」に則り、下記のとおり拠点校部活動への参加を申請いたします。

記

1. 実施を申請する部活動および生徒数

\_\_\_\_\_ 部 \_\_\_\_\_ 名

2. 拠点校との連絡責任者

(職名)                  氏名

\_\_\_\_\_

3. 特記事項

(添付書類)

拠点校部活動参加申込書・保護者同意書(様式2)の写し

【様式4】

拠点校部活動参加承諾書

令和 年 (        年)        月        日

(教育委員会)

函館市教育委員会 教育長 様

(在籍校)

函館市立            中学校長 様

(拠点校)

学校名 函館市立            中学校

校長名

「函館市立中学校等 拠点校方式による部活動要項」に則り、下記のとおり拠点校部活動への参加を承諾いたします。

記

1. 実施をする部活動および生徒数

\_\_\_\_\_ 部 \_\_\_\_\_ 名

2. 実施期間

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

3. 特記事項

(添付書類)

1. 拠点校部活動参加申込書・保護者同意書(様式2)の写し
2. 拠点校部活動参加申請書(様式3)の写し